

第 92 回講演大会・臨時総会記事

第 92 回講演大会は昭和 51 年 10 月 2 日(土)、3 日(日)、4 日(火)の 3 日間、また 10 月 2 日臨時総会が東北工業大学で開催され、ついで 5 日(水)見学会が行なわれた。

開会式・臨時総会

開会式は田畑新太郎専務理事司会のもと 10 月 2 日午前 9 時 10 分より 5 号館 3 階 53 教室(第 3 会場)で行なわれた。初めに不破祐実行委員長(東北大学工学部教授)より歓迎の挨拶が行なわれ、次いで小林佐三郎会長より開会の挨拶が行なわれた。「東北地区開催は昭和 43 年開催以来 8 年目に当る。今大会の講演件数は 431 件、討論会の 15 件と前東北地区大会より 100 件の増加となっている。鉄鋼界は厳しい環境下にあり、エネルギー、資源、環境公害等々解決を迫られる問題をかかえておりそのためには共同研究体制の強化と、産学の緊密な協調を本会が推進することが必要である。」

続いて、会長が議長となり、正会員会費変更、議案「定款中一部変更の件」に関し臨時総会が開催された。

定款一部変更に伴なり、提案理由の説明が指命により青山理事より行なわれた。

「本会の正会員、学生会員および外国会員の入会金および会費年額は昭和 50 年 1 月から値上げされましたが当時の狂乱的物価上昇に比べて値上げ幅を小幅に収めましたために、当時から 2 年後には会費の見直しをしなければならなくなるものと予想されておりました。

本年度の予算では個人会員からの会費収入は 4,600 万円でありまして、会誌「鉄と鋼」発行のための直接経費・印刷費郵税などの経費で人件費を含まない直接経費 8,300 万円の 55% にしか当りません。一方会誌発行経費は明年以降も増加が予想されますので、財政の健全化を図るために会費の変更が必要であります。

学会の個人会費は少くとも会費発行のための直接経費を賄う程度に定めるべきだとの議論もありますが、余りに急激な個人の負担増は避けたいと考えております。

そこで個人会費収入の中心をなす正会員の会費年額を 7000 円に 29.4% 値上げし、入会金も 700 円とすることを提案するものであります。

なお、学生会員につきましては、積極的に増加を図り将来における若手正会員増加の一助とするため、入会金を免除し、さらに会費年額現行 2,700 を 2,000 円に減額しようとするものであります。」

以上説明があり、原案が承認可決され、臨時総会が開会した。

表彰式

臨時総会につき浅田賞ならび第 8 回ヘンダーソン賞の表彰式が行なわれた。(表彰理由 ページ参照)(浅田賞)

吉田清太君 理化学研究所主任研究員
石川 馨君 東京理科大学教授

(ヘンダーソン賞)

肥後矢吉君 東京工業大学精密工学研究所助手
森 勉君 // 大学院総合理工学研究科教授
中村正久君 // //

特別講演会

表彰式について同会場で、特別講演ならびに浅田賞受賞記念特別講演 2 題が行なわれた。

1. 太陽エネルギー利用における諸問題
東北大学科学計測研究所所長 桜井武磨君
2. 自動車車体用簿板と成形技術の動向
浅田賞受賞者 吉田清太君
3. 鉄鋼業とのおつきあい 27 年
浅田賞受賞者 石川 馨君

講演大会

講演大会は製鉄、製鋼、加工、性質 11 会場に分かれて行なわれた。講演発表件数は製鉄関係 77 件、製鋼関係 120 件、加工関係 48 件、材料・分析関係 187 件と 431 件におよんだ。

また上記講演のほか次のテーマによる討論会が開催された。

1. 高炉の反応 座長 吉井周雄君
2. 連铸々片の内部割れの発生とその防止法
座長 郡司好喜、大橋徹郎
3. 高強力鋼薄板の塑性加工 座長 神馬 敬君
4. 鋼の疲労き裂の発生と伝播特性 座長 荒木透君

懇親会

10 月 2 日午後 6 時よりホテル江陽で日本金属学会と合同で開催された。出席者 250 名の多数にのぼり、安生浩大会副実行委員長(新日鉄釜石副所長)のもと、不破実行委員長、小林会長、藤本日本金属学会長の挨拶のあと、乾杯の音頭で始められた。各地から参集した会員諸氏の間で歓談がくりひろげられた。

ジュニアパーティー

10 月 3 日午後 5 時 30 分より東北工業大学学生食堂で開催された。参加者は 177 名の多数にのぼり、参加者より徳田昌則(東北大)、菊池淳(東北大)、川上公成(吾嬭)の各氏に司会を依頼した。若手技術者、研究者を中心に自由に懇談がなされ、民謡などもまじえて、互に親交が深められた。

見学会、婦人見学会

工場見学会は 10 月 5 日日本金属学会と合同で、また婦人見学会 10 月 3 日に開催された。

第 1 班 新日本製鉄(株)釜石製鉄所(参加者 14 名)

第 2 班 (株)吾嬭製鋼所、藤沢製鋼(株)
(参加者 19 名)

第 3 班 東北大金研、選研、金属博物館
(参加者 13 名)

婦人見学会 青葉城址、塩釜神社、松島海岸
(参加者 16 名)